

CCT2017 参加報告

華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口隆義

皆様こんにちは、華岡青洲記念心臓血管クリニックの山口です。今年も、CCTに参加してきました。CCTとは complex cardiovascular therapeutics の略で、難易度の高い心血管治療を、ライブデモンストレーションを中心に、その技術や知識を共有しようとする国際的な学術集会で、毎年、神戸で開催されています（昨年のレポートと同じ説明でした）。

今年は、これまでとは違い、コメディカル部門の Course Director として放射線部門全体のプログラム作成から関わらせて頂きました。最近は、アンギオセッションに加えて CT セッションも定番となっております。今年は、これらに加えて虚血セッションも企画させて頂きました。



PCI ライブ中継会場の風景

まずはアンギオセッションですが、この世界では「イメージガイダンス PCI」というのが1つのキーワードとなってきております。そこで、これをテーマとして各装置メーカーのユーザーからお話を頂きました。今後、様々なモダリティとのコラボレーションによって、インタラクティブな環境の実現が予想されますので、大変楽しい領域です。

次は CT セッションです。「各社最新 CT の心臓検査事情」と題して、各ユーザーにハイスペック CT の売り込みをして頂きました。私は東芝（現：キヤノン）代表として GENESIS Edition を積極的に紹

介しましたが、おそらく講演直後には2～3台の ONE が契約されたものと推察しています (笑)。やはり“心臓まるごと”の力は大きいですね。ですが、各社の現状も把握する事ができ、とても有意義な時間でした。

最後に、虚血セッションも紹介します。「心筋虚血評価のウソ・ホント」ということで、**SPECT・MRI・FFRCT**の各演者には、良いところだけではなく、足りない所やピットフォールなども積極的に盛り込むようお願いしておきましたが、ご講演された全ての皆様から期待通りのお話しを頂くことが出来ました。

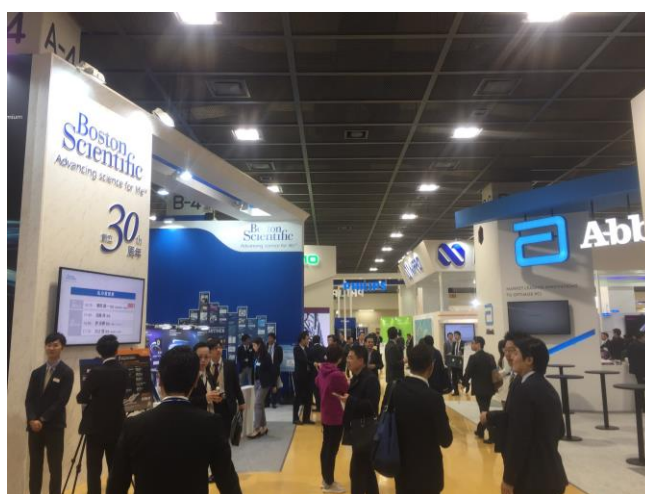


懇親会にて (縮めの挨拶させて頂きました)

CCT では、ポスター発表による一般演題も募集しています。循環器に関連することであれば何でも OK なので、看護師さんや臨床工学技士さんといった他職種の皆様とのコラボレーション演題なんかも発表できます。それぞれの施設での、ちょっとした工夫や取り組みが、他の施設の参考になることも多いので、是非ご発表頂ければと思います。来年は10月25日～27日で、同じく神戸で開催されます。



神戸餃子 (フォト by 小倉)



展示会場 (この奥がポスター会場でした)